

【小学校算数 活用問題 小5-④】

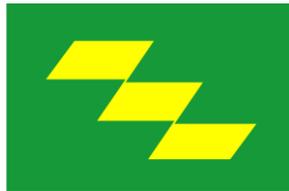
(単元評価問題関連：小5-③, ⑨, ⑪)

「宮崎ならではの花だん」	() 組	氏
	() 番	名

ほのかさんとみずきさんの学校では、花だんコンクールが行われます。花だん係の2人は、きれいな花だんにしようと、花植えの計画を立てました。



みずきさん、今年も花だんコンクールに向けて、学級の花壇をきれいにしていこうよ。

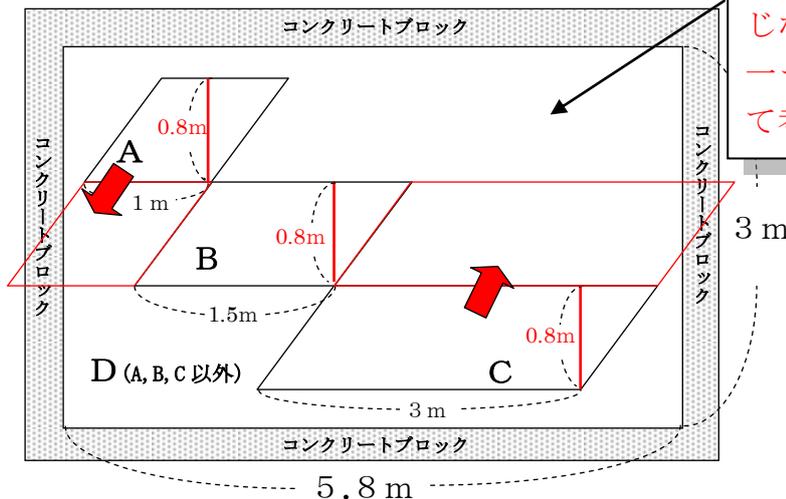


宮崎県の県旗



そうだね。今年は、宮崎県らしく、宮崎県の県旗みたいなデザインで花を植えたらどうかしら。

そこで、花だん係の2人は、下のように、平行四辺形A, B, Cとそれ以外のDの4つの場所に分けて花を植えようと計画しました。



平行四辺形の高さが同じなので、横にならべて一つの平行四辺形として考えましょう。

- (1) みずきさんは、A, B, Cの場所の面積を次のような式で求めました。どのように考えたのか説明しましょう。

→教科書P 8

【みずきさんが考えた式】

$$5.5 \times 0.8 = 4.4$$

答え 4.4 m^2

説明	<p>A, B, Cの平行四辺形は、どれも高さが0.8mで同じなので、3つの平行四辺形を横にならべて、一つの平行四辺形と考えます。</p> <p>3つの平行四辺形を横にならべて合わせた一つの平行四辺形の底辺の長さは、$1 + 1.5 + 3$で、5.5mです。</p> <p>平行四辺形の面積を求める公式は、底辺×高さなので、5.5×0.8となり、答えの4.4 m^2が求められます。</p>
----	--



みずきさん

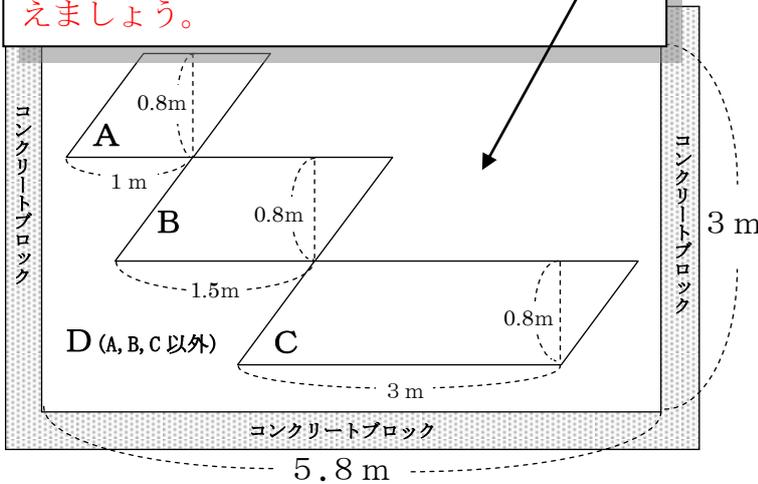
A～Dの4つの場所にどんな種類の花を植えたらいいかな？



4種類の花をそれぞれの場所に植えたいけど、あまりお金がかからないようにしないとイケないね。

(2) それぞれの場所に、4種類の花を植えます。花は種類によって、値段や植える間かぐちが違います。花の代金を一番安くするためには、どの花をどの場所に植えるとよいでしょう。式や言葉で説明して答えを書きましょう。1㎡あたりいくらかかるかを考えてみましょう。

1㎡あたりいくらかかるかを考えましょう。そして、値段が安い花を面積が広い場所に植えましょう。



【アの花】 →教科書P30

1本30円で
1㎡あたり25本植える

【イの花】

1本30円で
1㎡あたり20本植える

【ウの花】

1本25円で
1㎡あたり25本植える

【エの花】

1本25円で
1㎡あたり20本植える

説明	アの花は、30(円)×25(本)で、1㎡あたり750円必要です。 イの花は、30(円)×20(本)で、1㎡あたり600円必要です。 ウの花は、25(円)×25(本)で、1㎡あたり625円必要です。 エの花は、25(円)×20(本)で、1㎡あたり500円必要です。 Aの面積は0.8㎡、Bは1.2㎡、Cは2.4㎡、Dは13㎡なので、 1㎡あたりで代金が安い花を面積が広い場所に植えるとよい。							
答え	A	アの花	B	ウの花	C	イの花	D	エの花

(3) (2)の植え方で花を植えると、花代はいくらかかるでしょう。A、B、C、Dそれぞれの場所の花代を求めましょう。 →教科書 上P30, 下P30

A	式	$25(本) \times 0.8(㎡) = 20(本)$ $30(円) \times 20(本) = 600(円)$	答え	600円
B	式	$25(本) \times 1.2(㎡) = 30(本)$ $25(円) \times 30(本) = 750(円)$	答え	750円
C	式	$20(本) \times 2.4(㎡) = 48(本)$ $30(円) \times 48(本) = 1440(円)$	答え	1440円
D	式	$20(本) \times 13(㎡) = 260(本)$ $25(円) \times 260(本) = 6500(円)$	答え	6500円

まず、それぞれの場所に、花が何本必要かを考えましょう。

次に、それぞれの場所の面積をかけて、1㎡あたりで考えましょう。